

現代社会の最大の課題は、社会構造が持続可能なものになっていないところにあります。今のままでは、未来世代は現代世代と同じ条件で、環境を享受したり、資源を利用することはできません。

発想の転換により、希望がもてる持続可能な社会に転換するための「パラダイムシフト」について、社会科学の側面から山梨大学大学院工学研究部科 持続社会形成担当教授の鈴木嘉彦さんにお話ししていただきます。皆さんも一緒に考えてみませんか？

## 講師紹介

### 鈴木 嘉彦さん

山梨大学工学部長  
山梨大学大学院医学工学総合教育部長  
山梨大学教授  
持続社会形成専攻（修士課程）担当  
環境社会創生工学専攻（博士課程）担当  
工学部循環システム工学兼任



1947年（昭和22年）山梨県生まれ。

山梨大学工学部電子工学科卒業 東京工業大学大学院電子工学専攻博士課程修了（工学博士） 山梨大学講師、山梨大学助教授、米国UCLA客員研究員を経て1989年より山梨大学工学部教授 1998年自らも創設に関わった循環システム工学科学科長、2002年創設の大学院工学研究科「持続社会形成専攻」所属、2004年11月より現職。

## グループ「みらい」とは

グループ「みらい」は、男女共同参画社会の実現に向けて、推進活動を行っている山梨市在住者を中心にしたボランティアの自主グループです。

わたしたちは、男性も女性も男女のワクにとらわれずに、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会をめざしています。これまで幼稚園、保育所、子どもフェスティバル等で「子ども一人ひとりの個性を大切にすること」の重要性を呼びかける活動をしてまいりました。

わたしたちは、微力ながらも、住みよい、こころ豊かなまちづくりのお手伝いをしたいと思っています。